重度障害者・生涯学習ネットワーク（所在地：東京都）

事業名

『重度医療的ケア者対象の訪問型生涯学習支援』に関する実践研究

事業の趣旨・目的

重症心身障害者・医療的ケア者対象の訪問型生涯学習支援「訪問カレッジ」を持続可能な制度にすることを目的に、「①訪問型生涯学習支援における効果的な学習プログラム、②運営・地域連携、③人材育成、④理解啓発」の4つの項目で実践研究を行う。

事業実施体制・連携先

1．重度障害者・生涯学習ネットワーク：18団体（大学、NPO、一般社団等）
2．連携協議会：都教委、自治体、高等教育、特別支援学校、親の会等

主な対象

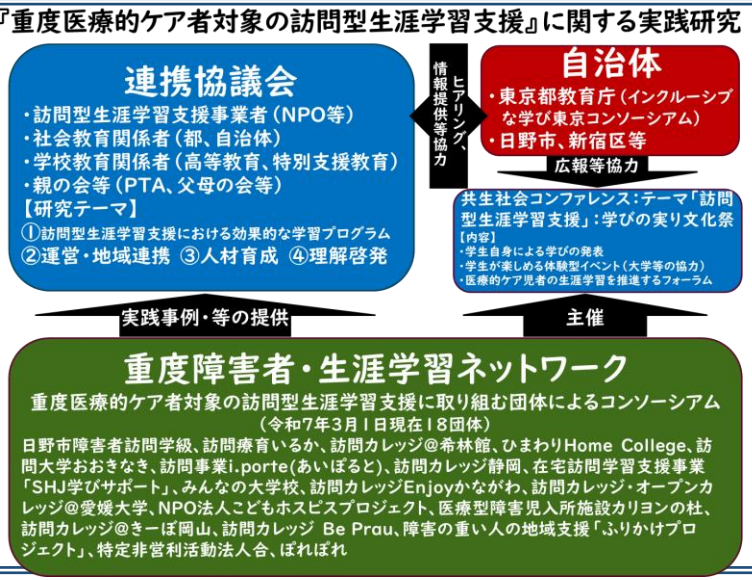
重症心身障害者・医療的ケア者

活動分野

訪問型生涯学習

事業内容

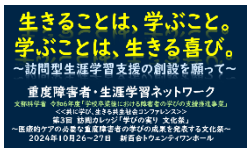
1．訪問型生涯学習支援「訪問カレッジ」の運営及びネットワークの間の交流
2．研究活動（本事業）
　①訪問型生涯学習支援における効果的な学習プログラム
　　重度障害者・生涯学習ネットワーク会員団体の実践を元にした調査研究
　②運営・地域連携
　　「訪問カレッジ」を持続可能な制度にするための制度モデルの研究
　　連携協議会を３回開催。
　③人材育成
　　「訪問カレッジ」 学習支援員やボランティアの育成の研究（アンケート調査）
　④理解啓発
　　学会等で「重度医療的ケア者対象の訪問型生涯学習支援」に関する理解啓発
3．訪問カレッジ「学びの実り」実践報告会
　　実践報告会Ⅰ　全国5か所で理解啓発及び支援機器研修を７月～10月中に開催
　　実践報告会Ⅱ　2025年10月25日（土）オリンピック記念青少年センター



事業終了後の目指す方向性

1．これまでの成果
　①「ボランタリー活動推進基金による神奈川県との協働事業」実現（令和5年）。
　②障害者基本計画（第5次計画）に「訪問型生涯学習支援」が記載（令和5年）。
2．今後の目指す方向性
　①重度医療的ケア者対象の訪問型生涯学習支援が全国に広がる。
　②国の制度として「訪問型生活介護事業」の創設や、「訪問型生涯学習支援」が自治体補助事業化され、重度医療的ケア者に対する生涯学習が保障される。

その他



重度障害者・生涯学習ネットワーク紹介ビデオ

令和６年度
実践研究報告書

訪問型生涯学習支援
理解推進パンフレット